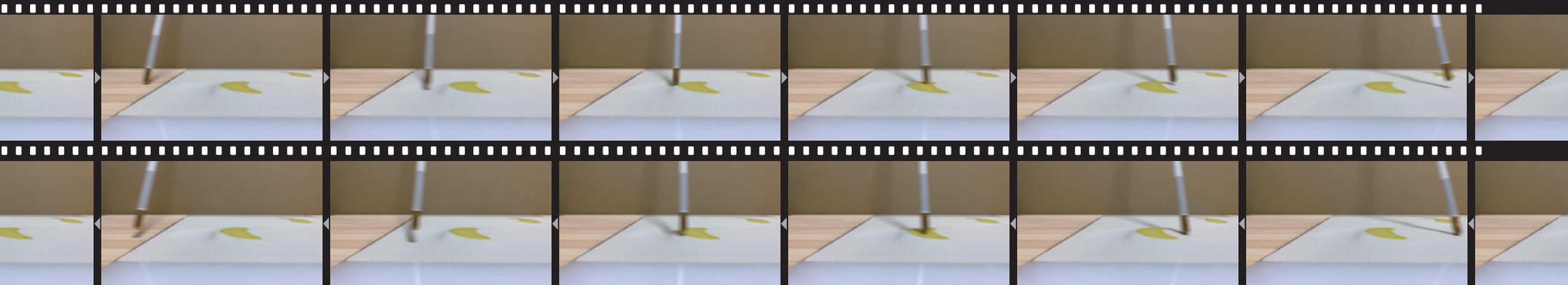
A stylized illustration of a city street. The scene is rendered in a dark, almost black color palette with white line art for buildings and street markings. A prominent feature is a tactile paving strip, which is a raised, textured surface used to guide visually impaired pedestrians. This strip is shown in a perspective view, curving along the edge of a sidewalk. A white cane with a red tip is positioned vertically, touching the tactile paving strip. The background shows a street with buildings, trees, and a clear sky. The overall style is minimalist and graphic.

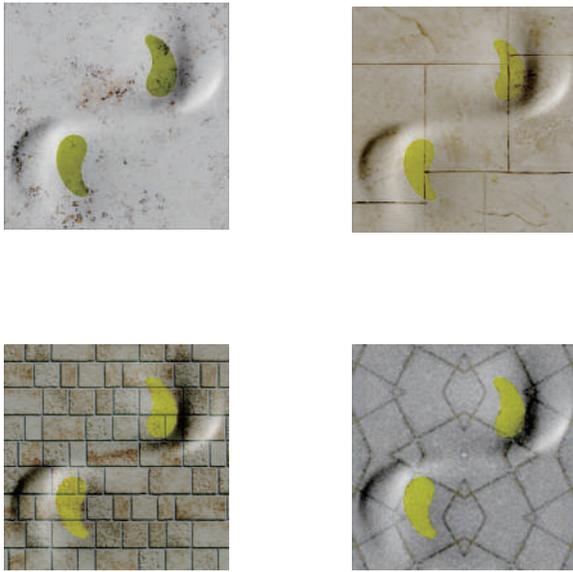
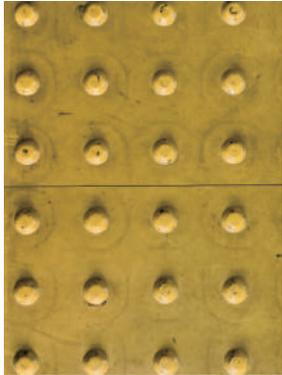
視覚障害者は新たな世界の指標に出会い 周囲の人々は“他者”の存在に出会い直す。

—ある地下歩道を歩いていたとき、白杖を頼りに歩く人を見かけた。彼は点字ブロックを使って進んでいた。当時地下歩道はかなり混雑していた。彼のすぐ前に歩いていた人は気づく様子もない。案の定ぶつかりそうになり声をかけたが、その先もそのまた先も人で溢れていた。埒が明かなかった。—

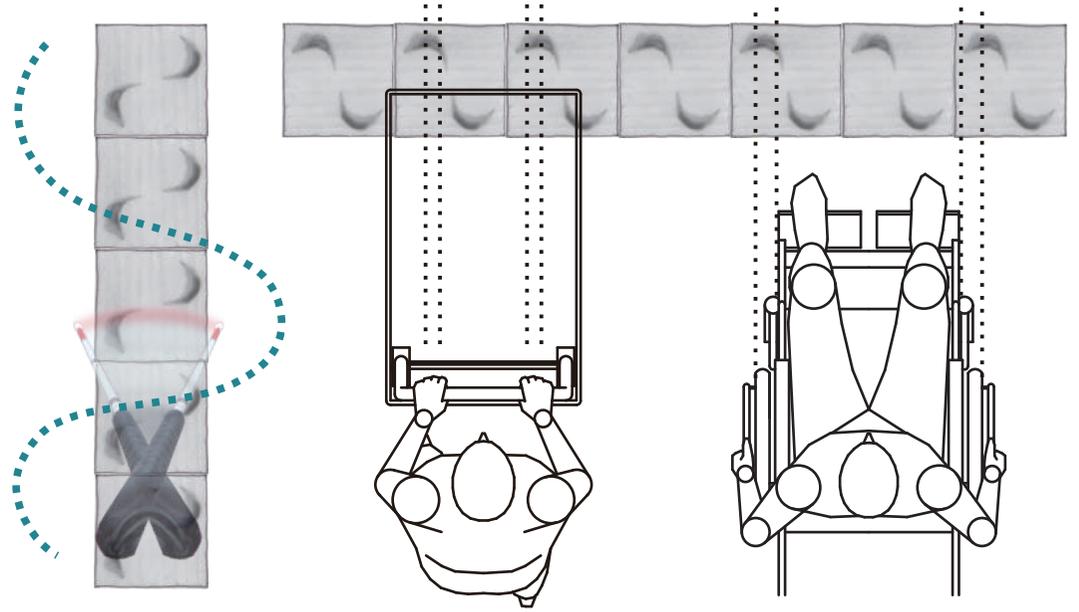
この実体験を元に、視覚障害者の存在を周知させることができないかと考えた。そこで、白杖とぶつかり合うことで音の鳴る「こだまブロック」を提案する。こだまブロックは、金属音のように高く、風鈴のように柔らかで快適な音を響かせる。形状は波のように膨らむ三次元曲面をしており、素材は磁器でできている。そのため、これまでの点字ブロックの諸課題をも解決する。



I



II



## I . 多色多彩

汚れが付きにくく、色彩の自由度が高い。様々な周辺環境に合わせて変色可能。部分的に黄色を配色することで色弱の人も認識しやすい。

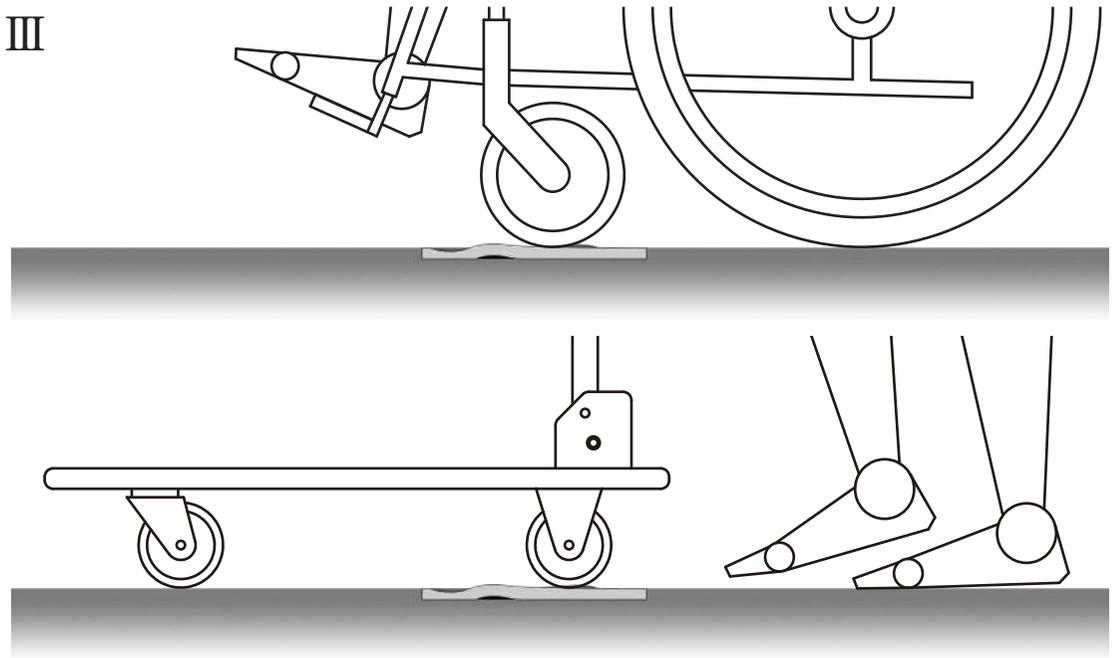
## II . 形態操作

白杖の振りを想起させるS字カーブを描く、凹凸の連続。S字であることでタイヤ通過時に起伏の小さい方からの通過を選択できる。

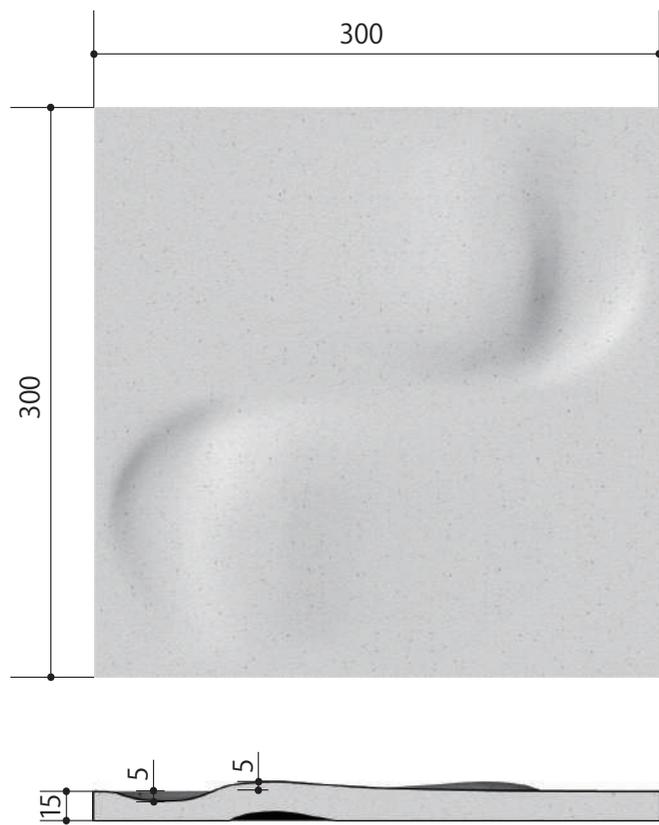
## III . 建物内部

滑らかな起伏を持つこだまブロックはキャスター走行性に優れ、普及の遅れている建物内部でもつまづきが発生しにくい。

III



誘導ブロック



警告ブロック

